

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成25年7月4日

【四半期会計期間】 第42期第3四半期(自 平成25年2月21日 至 平成25年5月20日)

【会社名】 ケイティケイ株式会社

【英訳名】 ktk INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 青山英生

【本店の所在の場所】 名古屋市東区泉二丁目3番3号

【電話番号】 (052)931-1881(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理部長 木村裕史

【最寄りの連絡場所】 名古屋市東区泉二丁目3番3号

【電話番号】 (052)931-1881(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理部長 木村裕史

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)
ケイティケイ株式会社 東京支店
(東京都大田区蒲田四丁目22番3号 住友生命蒲田ビル3F)
ケイティケイ株式会社 大阪支店
(大阪市中央区南船場一丁目13番14号 西田ビル4F)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第41期 第3四半期 連結累計期間	第42期 第3四半期 連結累計期間	第41期
会計期間	自 平成23年5月21日 至 平成24年2月20日	自 平成24年8月21日 至 平成25年5月20日	自 平成23年5月21日 至 平成24年8月20日
売上高 (千円)	6,321,416	8,262,437	10,387,692
経常利益 (千円)	12,104	44,649	18,446
四半期純利益又は 当期純損失() (千円)	1,873	54,236	78,572
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,908	75,285	77,396
純資産額 (千円)	2,027,543	2,417,441	1,947,238
総資産額 (千円)	4,188,346	8,480,426	4,101,656
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額 () (円)	0.51	11.29	21.60
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	48.4	28.5	47.5

回次	第41期 第3四半期 連結会計期間	第42期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年11月21日 至 平成24年2月20日	自 平成25年2月21日 至 平成25年5月20日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 () (円)	1.58	6.21

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第41期第3四半期連結累計期間、第42期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第41期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第41期は決算期変更により、平成23年5月21日から平成24年8月20日までの15ヶ月の変則決算となっております。これに伴い、第41期第3四半期連結累計期間と第42期第3四半期連結累計期間及び第41期第3四半期連結会計期間と第42期第3四半期連結会計期間とは対象期間が異なっております。
6. 第42期第2四半期において、株式会社青雲クラウンの発行済株式全てを取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。これに伴い、総資産が大幅に増加しております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(サプライ事業)

第2四半期連結会計期間より、株式会社青雲クラウンは株式交換により当社の完全子会社となったため、同社を連結の範囲に含めております。また、株式会社青雲クラウンが当社の完全子会社になったことに伴い、第2四半期連結会計期間よりSBMソリューション株式会社を持分法適用の範囲に含めております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

前連結会計年度の決算期変更に伴い、当第3四半期連結累計期間は比較対象となる前第3四半期連結累計期間と対象期間が異なるため、対前年同四半期増減比は記載していません。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間(平成24年8月21日～平成25年5月20日)のわが国経済は、前半においては海外経済の減速等を背景として景気回復の動きに停滞が見られたものの、昨年12月の政権交代以降、安倍新政権の大胆な経済政策(いわゆるアベノミクス)への期待感から円安、株高が進行し、景気は緩やかに持ち直しつつあります。しかしながら実体経済の動向につきましては、依然として不透明な状況が続いております。

このような中で、当社グループを取り巻く経営環境は、主力製品であるリサイクルトナーの販売が伸び悩み、引き続き厳しい状況で推移しております。

これらの結果、売上高は8,262,437千円となりました。営業利益は31,888千円、経常利益は44,649千円となりました。四半期純利益は、株式会社青雲クラウンの子会社化に伴う負ののれん発生益26,297千円を加えた結果、54,236千円となりました。

なお、セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(サプライ事業)

主力商品であるリサイクル商品(リパケットナー)は、競合他社との販売競争の激化により販売本数が当初予測を下回ったこと、OAサプライ商品では、PPC用紙が順調に推移したこと、その他商品では、子会社化した株式会社青雲クラウンの業績が当第3四半期連結会計期間より組み入れられたこと等により、売上高は8,074,277千円、セグメント利益(経常利益)は11,632千円となりました。

(ソリューション事業)

注力しているクラウド型メールセキュリティサービス「@Securemail」シリーズにおきましては、売上高は増加したものの新規顧客の獲得数が当初計画に及ばず、またシステム構築におきましては案件減少の影響等があり、売上高は188,160千円、セグメント利益(経常利益)は33,017千円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、株式会社青雲クラウンの子会社化に伴い前連結会計年度末に比べ4,378,769千円増加し、8,480,426千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3,501,938千円増加し、5,822,373千円となりました。これは、主に株式会社青雲クラウンの子会社化等により現金及び預金が1,092,173千円、受取手形及び売掛金が1,855,241千円、商品及び製品が460,975千円増加したこと等によります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ876,830千円増加し、2,658,052千円となりました。これは、主に株式会社青雲クラウンの子会社化等により有形固定資産が366,331千円、無形固定資産が130,908千円、投資その他の資産が379,591千円増加したことによります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3,530,456千円増加し、5,557,484千円となりました。これは、主に株式会社青雲クラウンの子会社化等により支払手形及び買掛金が2,374,437千円、短期借入金が912,680千円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ378,110千円増加し、505,500千円となりました。これは、主に株式会社青雲クラウンの子会社化等により長期借入金が240,803千円増加したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ470,202千円増加し、2,417,441千円となりました。これは、主に株式会社青雲クラウンの子会社化に伴う新株発行により、資本剰余金が448,800千円増加したこと等によります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当社グループでは、サプライ事業のリサイクル新商品に関する研究開発活動を連結子会社である株式会社アイオーテクノにて行っており、当第3四半期連結累計期間の研究開発費は16,249千円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年5月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年7月4日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,875,000	5,875,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株でありま す。
計	5,875,000	5,875,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年5月20日		5,875		294,675		708,475

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年5月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式152,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式5,721,500	57,215	
単元未満株式	普通株式 700		
発行済株式総数	5,875,000		
総株主の議決権		57,215	

(注) 1 「単元未満株式」の欄の普通株式には、当社所有の自己株式15株を含んでおります。

2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年2月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年5月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ケイティケイ株式会社	名古屋市東区泉 二丁目3番3号	152,800		152,800	2.60
計		152,800		152,800	2.60

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

当社は、平成23年8月10日開催の第40期定時株主総会の決議により、決算期を5月20日から8月20日に変更いたしました。これに伴い、前第3四半期連結会計期間は平成23年11月21日から平成24年2月20日、前第3四半期連結累計期間は平成23年5月21日から平成24年2月20日、当第3四半期連結会計期間は平成25年2月21日から平成25年5月20日、当第3四半期連結累計期間は平成24年8月21日から平成25年5月20日までとなっております。また、前連結会計年度は平成23年5月21日から平成24年8月20日までの15ヶ月間となっております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年2月21日から平成25年5月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年8月21日から平成25年5月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、五十鈴監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	873,625	1,965,799
受取手形及び売掛金	1,153,707	3,008,949
有価証券	20,984	20,995
商品及び製品	127,357	588,333
仕掛品	3,400	1,881
原材料及び貯蔵品	88,149	74,164
その他	55,507	164,613
貸倒引当金	2,298	2,363
流動資産合計	2,320,435	5,822,373
固定資産		
有形固定資産		
土地	863,977	1,176,600
その他(純額)	390,468	444,177
有形固定資産合計	1,254,446	1,620,777
無形固定資産		
その他	91,187	222,096
無形固定資産合計	91,187	222,096
投資その他の資産		
その他	438,078	818,570
貸倒引当金	2,491	3,391
投資その他の資産合計	435,587	815,178
固定資産合計	1,781,221	2,658,052
資産合計	4,101,656	8,480,426
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	772,354	3,146,791
短期借入金	963,772	1,876,452
未払法人税等	2,117	22,784
賞与引当金	32,413	15,000
その他	256,370	496,456
流動負債合計	2,027,027	5,557,484
固定負債		
長期借入金	9,216	250,019
役員退職慰労引当金	69,247	133,107
その他	48,927	122,374
固定負債合計	127,390	505,500
負債合計	2,154,418	6,062,985

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	259,675	708,475
利益剰余金	1,412,486	1,438,644
自己株式	20,929	46,419
株主資本合計	1,945,907	2,395,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,331	22,066
その他の包括利益累計額合計	1,331	22,066
純資産合計	1,947,238	2,417,441
負債純資産合計	4,101,656	8,480,426

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月21日 至平成24年2月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年8月21日 至平成25年5月20日)
売上高	6,321,416	8,262,437
売上原価	4,706,181	6,415,247
売上総利益	1,615,234	1,847,190
販売費及び一般管理費	1,599,350	1,815,301
営業利益	15,884	31,888
営業外収益		
受取利息	161	131
受取配当金	1,022	650
持分法による投資利益	-	13,621
仕入割引	-	10,100
受取家賃	2,565	10,455
受取手数料	635	409
その他	7,128	4,134
営業外収益合計	11,513	39,505
営業外費用		
支払利息	7,840	10,607
売上割引	-	12,135
その他	7,453	4,000
営業外費用合計	15,293	26,744
経常利益	12,104	44,649
特別利益		
負ののれん発生益	-	26,297
特別利益合計	-	26,297
特別損失		
投資有価証券評価損	264	-
特別損失合計	264	-
税金等調整前四半期純利益	11,840	70,946
法人税、住民税及び事業税	6,093	18,639
法人税等調整額	3,873	1,928
法人税等合計	9,966	16,710
少数株主損益調整前四半期純利益	1,873	54,236
四半期純利益	1,873	54,236

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月21日 至平成24年2月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年8月21日 至平成25年5月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,873	54,236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,034	20,734
持分法適用会社に対する持分相当額	-	314
その他の包括利益合計	1,034	21,049
四半期包括利益	2,908	75,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,908	75,285
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(1) 連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、株式会社青雲クラウンは株式交換により当社の完全子会社となったため、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

株式会社青雲クラウンが当社の完全子会社になったことにより、第2四半期連結会計期間よりSBMソリューション株式会社を持分法適用の範囲に含めております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年5月21日 至 平成24年2月20日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年8月21日 至 平成25年5月20日)	
減価償却費	74,753千円	減価償却費	71,595千円
のれんの償却額	515千円		

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年5月21日 至 平成24年2月20日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年8月10日 定時株主総会	普通株式	25,460	7	平成23年5月20日	平成23年8月11日	利益剰余金
平成23年12月26日 取締役会	普通株式	14,549	4	平成23年11月20日	平成24年2月6日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年8月21日 至 平成25年5月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月13日 定時株主総会	普通株式	10,911	3	平成24年8月20日	平成24年11月14日	利益剰余金
平成25年3月29日 取締役会	普通株式	17,166	3	平成25年2月20日	平成25年5月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成24年12月21日付で当社を完全親会社とし、株式会社青雲クラウンを完全子会社とする株式交換を実施いたしました。この株式交換により、発行済株式数が2,200,000株増加するとともに、資本剰余金が448,800千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年5月21日 至 平成24年2月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,123,745	197,671	6,321,416		6,321,416
セグメント間の内部売上高 又は振替高		454	454	454	
計	6,123,745	198,125	6,321,871	454	6,321,416
セグメント利益又は セグメント損失()	9,345	21,450	12,104		12,104

(注) セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を図っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年8月21日 至 平成25年5月20日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,074,277	188,160	8,262,437		8,262,437
セグメント間の内部売上高 又は振替高		429	429	429	
計	8,074,277	188,590	8,262,867	429	8,262,437
セグメント利益	11,632	33,017	44,649		44,649

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を図っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「サプライ事業」セグメントにおいて、当社が平成24年12月21日に株式会社青雲クラウンを完全子会社化したため、当第3四半期連結累計期間において、負ののれん発生益26,297千円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含まれておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月21日 至平成24年2月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年8月21日 至平成25年5月20日)
1株当たり四半期純利益金額	0円51銭	11円29銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	1,873	54,236
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	1,873	54,236
普通株式の期中平均株式数 (株)	3,637,285	4,802,247

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第42期(平成24年8月21日から平成25年8月20日まで)中間配当については、平成25年3月29日開催の取締役会において、平成25年2月20日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

- | | |
|------------------------|-----------|
| (1) 中間配当による配当金の総額 | 17,166千円 |
| (2) 1株当たりの金額 | 3円 |
| (3) 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成25年5月7日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年7月4日

ケイティケイ株式会社
取締役会 御中

五十鈴監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 太 田 豊 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 西 野 賢 也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているケイティケイ株式会社の平成24年8月21日から平成25年8月20日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年2月21日から平成25年5月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年8月21日から平成25年5月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ケイティケイ株式会社及び連結子会社の平成25年5月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。